

天授ヶ岡教会 ゴスペルだより 03

Gospel news from Tenjugaoka Church



ごあいさつ

最近、教会の倉庫を整理していると、古いネガフィルムがたくさん出てきました。今から90年～70年前の、大正

末期から戦後まもなくまでの、

天授ヶ岡教会や天授ヶ岡幼稚園の礎を築かれたドロシー・エレン・ホーア先生や福田八重先生が東京や大阪で活動され、京都に落ち着くまでのものです。

大正デモクラシーといわれた時代、関東大震災や二つの大きな戦争が

あった時代、敗戦直後を生きたクリスチャンや教会が映し出されています。着ている服や景色は今では

随分と様変わりしていますが、当時起こった様々な出来事は、今の時代にも繰り返し起きているように思います。昔も今も変

わりなく「激動の時代」なのではないでしょうか。しかしその中で、変わらないものがあることをネガフィルムは物語っています。それが福音(ゴスペル)、イエス・キリストの救い、聖書の言葉です。そして福音を信じる人々の生き様です。私たち天授ヶ岡教会は天授ヶ岡幼稚園と共に、どんな時代をも貫く変わらないゴスペルをみなさんに知っていただきたいと願っています。



メッセージ



「わたしが命のパンである。」

(新約聖書 ヨハネによる福音書第6章35節)

かつてグルメブームがありました。美味しい食べ物、ちょっと贅沢な食べ物を食べ歩くテレビ番組も少なくありませんでした。今もグルメブームと言えるかと思いますが、その内容は少しずつ変わってきているのではないのでしょうか。単に美味しいだけではなく、体にいい食べ物、豊かな自然の恵みとしての食べ物に重きが置かれるようになってきたと思います。私たちの健康志向とも密接に関係しているでしょう。

私たちは自分の体の健康と、そのための食べ物に気を配りますが、私たちの心や魂の健康と、その食べ物に気を配っているのでしょうか。イエス・キリストは「わたしが命のパンである」と言われました。キリストは天地創造のはじめからおられ、父なる神様と共に、私たちの体の健康のために必要なこの世界を創造して下さいました。自然の恵みは神様の恵み、キリストの恵みです。そしてそれだけではなく、キリストは私たちの永遠に必要なパンとして、二千年前にこの世界に来て下さり、十字架にかかり、死んでよみがえり、天に帰られました。

キリストというパンを食べることで、キリストの十字架が私の内にある永遠の滅びに至る罪をデトックスしてくれます。体は一度死を迎えますが、「終わりの日」にキリストと同じように再び体が与えられてよみがえり、キリストと共に新しい天と地に至り、神様と共に永遠に生きられるのです。キリストというパンはそこまで私たちの体も心も魂も養い導きます。

ではどうやって食べるのか？キリストをあなたの救い主だと信じることが食べること。そしてキリスト(インストラクター)に従うことが永遠生活に向けた健康の秘訣です。自然の恵みも永遠の新しい世界の恵みも与えて下さるキリストを信じて従うことは、あなたにとって必要不可欠ではないでしょうか。

天授ヶ岡教会の四季折々

春

10時半からの礼拝の前に、子どもたちの礼拝もしています。↓

↑イースター礼拝。信仰の先輩たちを偲びつづ。墓前礼拝も行います。→

←いくつかの教会の青年が集まって賛美や聖書の学び、語り合いの時も持っています。

夏

カフェ礼拝。茶菓を持ち寄って、分かち合いながらの礼拝。笑いあり、涙ありの豊かな交わりのひととき。

秋にはバーベキュー礼拝。食べて語って歌って祈って聴いて神の家族のお交わり。

秋

冬

クリスマスは持ち寄りのお祝い食事を開きます。この時も賛美は欠かせません。また1年を振り返る恵みの時でもあります。

↑11月には天授ヶ岡幼稚園の収穫感謝礼拝です。6月には花の日礼拝も行います。園児たちが全員、教会堂に来てくれて元気に賛美歌を歌います。

集会案内

日曜日 教会学校・賛美タイム
9:30~10:00
礼拝 10:30~11:30
水曜日 祈禱会 14:00~15:00

※聖書の学びや相談受付もいたします。
※エホバの証人やものみの塔、統一協会など
でお困りの方はご連絡下さい。



アクセス

日本イエス・キリスト教団

天授ヶ岡教会

牧師 内田 純



京福電鉄嵐山線「妙心寺駅」から
徒歩5分。お隣は天授ヶ岡幼稚園。
駐車場がありませんので
公共交通機関をご利用下さい。

〒616-8021

京都市右京区花園天授ヶ岡町 10-28

TEL&FAX 075-463-3209

E-mail tenjuch-1948@oasis.ocn.ne.jp

ホームページ <http://tenjugaoka9561.ec-net.jp/tenjuch/>

